

ハローワーク倉吉 就職支援業務報告（令和２年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、所において実施する就職応援セミナーや雇用保険受給者説明会など中止や簡略化が求められる中、中止を選択するのではなく、工夫を凝らし感染防止対策も徹底したうえで定員の縮小や実施回数の削減を行い 7 月からは就職応援セミナーを再開、雇用保険受給者説明会における訓練実施機関による説明も 11 月から再開した。
- 人材不足分野にかかる面接会は、各自治体と連携して開催してきたが、令和２年度においては、自治体側のイベント見合わせ気配を受け、ハローワーク単独で規模を縮小して開催した。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

- 就職応援セミナーにおいて、労働基準監督署の協力により、冒頭に労働法令関係周知のための説明を行っている。
- システム刷新に伴い求人情報提供端末の操作について、受付担当職員を増員して支援にあたった。
- 雇用調整助成金の申請相談の急増に伴い、担当者以外でも対応できるよう研修を実施し窓口対応を行った。
- 生保事業の出張相談については、令和２年 11 月より福祉事務所が設置されていない町へ巡回相談を開始し管内全ての市町へ巡回相談を行うこととなった。
- 職業訓練受講者に対して、担当者制により訓練前から訓練終了後の就職まで支援する体制とした。
- 例年 1 回の開催としていた障害者面接会について、分散して 4 回の開催として、就職につなげた。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- 新システムを効果的に活用し、サービス向上に資するため、求人者マイページの登録を進めていく。窓口で直接求人受理することで、求人情報以外の事業所情報が収集できるなどのメリットもあるが、マイページの推奨により事務処理の効率化を図り、短縮できた時間を使って事業所訪問を行い画像情報の収集に力を入れたい。
- しごとプラザ琴浦の利用勧奨については、近隣町の広報誌も活用し、利用者拡大を目指す。

(4) その他業務運営についての分析等

- 琴浦町と一体的実施事業を実施しており、地元商工会からは、求人者への対応を期待されている。求職者のみならず、求人者への充足サービスを実施する必要がある。引き続き町と連携しこの事業の活性化を図っていく。
- 例年各市町で実施していた介護就職デイをコロナ感染拡大防止のため、市町単位での実施を取りやめ、本所及び琴浦町（一体的実施施設）で開催した。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	HW の紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等 の就職件数
実績	1,324	1,175	471	76.9%	134	3,796	599	53
目標	1,509	1,435	440	77.9%	71	3,989	652	64
目標達成率	87%	81%	107%	98%	188%	95%	91%	82%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率